



2024年5月14日

各位

会社名 ヒロセ通商株式会社
代表者名 代表取締役社長 野市 裕作
(コード番号：7185 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部長 美濃出 真吾
(TEL. 06-6534-0708)

2024年3月期 通期個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)の個別業績におきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期個別業績と前期実績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前期実績 (A) (2023年3月期)	8,885	3,089	1,844
当期実績 (B) (2024年3月期)	9,328	3,782	2,433
増減額 (B-A)	442	692	588
増減率 (%)	5.0%	22.4%	31.9%

2. 差異の理由

当社グループの関連する金融商品取引市場におきましては、政府・日銀による円買い・ドル売り介入への警戒感や日銀のマイナス金利政策の早期解除観測、FRBの早期利下げ観測を受けた米金利の低下などにより一時円高に転じる場面もありましたが、概ね日米金利差が開いた状況が続くとの見方から円安基調で推移し、3月には日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことから151円台半ばで期末を迎えました。

このような状況の中、当社グループは、ボラティリティの上昇、世界的な金利上昇に伴うスワップ目的の取引機会が増加することを見込み、2023年6月より「LION FX」において新たにチェココルナ/円・イスラエルシェケル/円・タイバーツ/円の取扱いを開始して通貨ペアを54種類に、株価の上昇に伴い2023年11月には「LION CFD」において新たにIT関連、米国半導体等ETF14銘柄の取扱いを開始して23銘柄(株価指数CFD9種、ETF CFD14種)に増やすなど、取引環境の拡充を行いました。

また、上記の状況を踏まえ、これまでに取引経験が少ない顧客の取引のサポートを目的として自動でテクニカルの有効性を確認できる「LIONシグナルマップ」のスマートフォン用ツールのリリース、「LIONチャートPlus+」にテクニカルの売買サインに沿って自動注文する機能の追加、休眠していた顧客の取引復活に備え、パソコン並の高機能が満載の新アプリ「LION FX5」のAndroid版や、取引情報に高金利通貨に特化した情報を

確認できる「高金利通貨ニュース」、従来の方法よりも厳重なログイン方法である二段階認証を導入し、セキュリティを強化するなど、顧客ニーズの実現に取り組みました。

上記のような取り組みを行った結果、営業収益が増加しました。

利益面につきましては、取引高に連動する費用が減少したこと等により、営業費用が前期比で減少し、経常利益及び当期純利益が増加しました。

以上